

自治体の税金収納業務を効率化 税公金セルフ収納機



自治体や銀行派出所の窓口における収納業務が手作業のため職員の負担が大きい

税金収納業務で発生する処理済み納付書等の紙の管理負担が大きい

納付済の収納データを手作業で自治体システムへ消込むため職員の負担が大きい



税公金収納をセルフ化することで、自治体の窓口や銀行派出所で行っている税公金業務の負担軽減や、収納情報のデータ化による自治体職員さまの事務負担軽減により納税業務の自治体DXを推進します。

特長/概要

- コンビニ代行収納で利用しているバーコードフォーマットを利用することで、全国の自治体さまがノーカスタマイズで使用可能な共通PKGを提供
- 管理PCから入出金履歴や収納履歴を確認することが可能なため自治体職員さまの運用負担を軽減
- レシートプリンターから領収書の代替となるご利用明細票を発行することで領収書の押印作業・控えの管理が不要となりペーパーレス化を実現



利用シーン

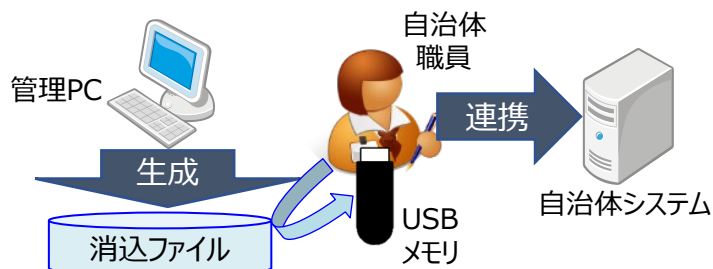
来庁者がセルフで税公金収納を行う

納付書の読取からご利用明細票の発行まで完全セルフ化



自治体職員さまは業後に自治体システムへ消込を行う

管理PCから収納データをUSBメモリに書き込み
自治体システムへ連携



■ お問い合わせ

沖電気工業株式会社
エンタープライズソリューション事業部
事業企画部 事業戦略室
visiot-info@oki.com



■ 参考資料

【税公金セルフ収納機 紹介HP】

<https://www.oki.com/jp/enterprisedx/storefront/selfsyuno/>

